



じょうもんじだい

縄文時代の人々は、どんなものを食べていたの



どんぐりなどの木の実や、貝・魚・いのしし・しか・鳥などを食べていたんだよ。

かいづか

貝塚を調べると、縄文時代の食べ物がわかる

貝塚は、おもに縄文時代のごみ捨て場のあとです。貝塚をほると、貝殻のほかに、けものや鳥・魚の骨、植物の種子、こわれた道具・土器など、いろいろなものが出てきます。これらを調べると、縄文時代の人々が食べていたものや、使っていた道具などがわかります。

縄文時代のおもな食べ物

縄文時代の人々のおもな食べ物は、野山で採集した木の実、海や川でとった魚・貝、狩りでとらえたけもの類などです。

木の実：どんぐり・くり・くるみ・とちの実など。

その他の植物：くず・わらび・ひょうたん・やまぶどうなど。

貝：あさり・はまぐり・まてがい・ばかがい・はいがい・まがきなど。

魚：さけ・ます・まぐろ・ぼら・くろだい・すずき・こち・はもなど。

鳥：がん・かも・きじなど。

けもの類：いのしし・しか・たぬき・のうさぎなど。

縄文時代の終わりごろには、米づくりが始まっていた

米づくりは、かつては、弥生時代やよいじだいになってから始まった、と考えられていました。しかし、1978年に福岡市の板付遺跡いたづけいせきで、縄文時代の終わりごろの水田あとが発見されてから、九州北部・中国地方・近畿地方きんきちほうで、縄文時代の水田あとが、次々に発見されました。このことは、縄文時代の終わりごろには、西日本で米づくりが始まっていて、米を食べていた人々がいたことを示しています。